

# おまえざき 市議会だより

2024年  
10.11.12月

令和7年2月発行

12月議会定例会	2
委員会質疑	5
一般質問	7
委員会報告	12
議員研修	14
視察研修	14

## 昭和30年頃の 浜岡砂丘の写真

当時は砂山が幾重にも連なり、海岸まで数百メートルにわたって広がっていました。それは住民の心のよりどころであると同時に、全国から観光客を引き寄せる存在でもありました。

出典：風紋－浜岡町・閉庁記念写真集－

## 御前崎市の今むかし

### 現在の浜岡砂丘の写真

遠州灘の海岸侵食などの影響により、砂の減少が著しい状況にあります。美しい砂丘を守り、次世代へ引き継ぐためには、適切な保全活動が不可欠です。



本号より表紙は「御前崎市の今むかし」を紹介します。

# 12月議会定例会

12月議会定例会は、11月28日から26日間の会期で開催し、12月23日に閉会しました。



初日



最終日

議会の様子は「YouTube」で配信されています。

## ■ 12月議会定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第61号	御前崎市副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市が取り組むべき行政課題の状況に応じて副市長の登用を弾力的に行うため、令和7年4月1日より副市長の定数を「1人」から「2人」に改正するもの	全員一致で可決
議案第62号	御前崎市部設置条例の一部を改正する条例の制定について	複雑多様化する市民ニーズや新たな行政需要に迅速かつ的確に対応するため、政策、施策を戦略的に展開できる体制に行政組織を改編するもの	全員一致で可決
議案第63号	御前崎市地区センター体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	地区センター体育館施設使用料に、新野体育館冷暖房設備使用料として1時間当たり2,300円を追加するもの	全員一致で可決
議案第64号	御前崎市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	現行の300円の住宅用家屋証明書交付手数料を、近隣自治体と同額程度の1,300円に改正するもの	全員一致で可決
議案第65号	御前崎市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議するための審査委員会を設置するもの	全員一致で可決
議案第66号	御前崎市立保育所条例の廃止について	令和7年3月末に市立白羽保育園が閉園することに伴い、条例を廃止するもの	全員一致で可決
議案第67号	御前崎市立幼保連携型認定こども園の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年3月末に市立御前崎こども園が閉園することに伴い、条例から認定こども園の名称と位置を削除するもの	全員一致で可決
議案第68号	御前崎市ふるさと交流拠点施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	「あらさわふる里公園」が共用開始から25年目を迎えることから、新たな料金区分の設定と学習館などの利用料金の改定を行うもの	全員一致で可決
議案第69号	御前崎市病院事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	常勤医師の赴任に伴い診療科目を改めるとともに、介護老人保険施設における各サービスの食費を改正するもの	全員一致で可決
議案第70号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員候補者に丸尾 文氏（池新田地区）を推薦することについて、議会が意見を付すもの（新任）	全員一致で適任と認める
議案第71号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員候補者に植田浩行氏（御前崎地区）を推薦することについて、議会が意見を付すもの（新任）	全員一致で適任と認める
議案第72号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	御前崎市立総合病院での医療行為に係る和解に伴う損害賠償の額を定めるため、議会の議決を求めるもの	全員一致で可決

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第 73 号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	御前崎市立総合病院での医療行為に係る和解に伴う損害賠償の額を定めるため、議会の議決を求めるもの	全員一致で可決
議案第 74 号	御前崎市道路線の変更について	市道 1809 号線の路線を変更するにあたり、道路法の規定により議会の議決を求めるもの	全員一致で可決
議案第 75 号	緊急防災工事計画について	比木地区にある農業用ため池（3 池）の緊急防災工事計画を定めるにあたり、土地改良法の規定により議会の議決を求めるもの	全員一致で可決
議案第 76 号	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	広域連合の規約変更に係る協議について、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの	全員一致で可決
議案第 77 号	小笠老人ホーム施設組合からの脱退について	令和 7 年 3 月末をもって小笠老人ホーム施設組合から脱退することについて、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの	全員一致で可決
議案第 78 号	令和 6 年度御前崎市一般会計予算の補正（第 5 号）について	南駿河湾漁協が実施する製氷施設整備事業に対する補助金 7 億 6,638 万円など、歳入歳出それぞれ 9 億 1,976 万 2 千円を追加し、総額 176 億 6,276 万 1 千円とするもの	全員一致で可決
議案第 79 号	令和 6 年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正（第 3 号）について	一般被保険者分の療養費及び高額療養費について、上半期の実績と今後の支出見込みから、歳入歳出それぞれ 2,720 万円を追加し、総額 34 億 9,267 万 4 千円とするもの	全員一致で可決
承認第 5 号	専決処分の報告及びその承認について（令和 6 年度御前崎市一般会計予算の補正（専決第 2 号））	令和 6 年 10 月 27 日執行の衆議院議員総選挙に係る予算について専決処分したため、地方自治法の規定により議会の承認を求めるもの	全員一致で承認
議案第 80 号	御前崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に伴う一般職の手当支給月数引上げに合わせ、市議会議員の期末手当支給率を 0.1 月 / 年引上げるため条例の一部を改正するもの	全員一致で可決
議案第 81 号	御前崎市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に伴う一般職の手当支給月数引上げに合わせ、特別職（市長、副市長）の期末手当支給月数を 0.1 月 / 年引上げるため条例の一部を改正するもの	全員一致で可決
議案第 82 号	御前崎市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に伴う一般職の手当支給月数引上げに合わせ、教育長の期末手当支給月数を 0.1 月 / 年引上げるため条例の一部を改正するもの	全員一致で可決
議案第 83 号	御前崎市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告により、御前崎市職員の給与を平均 3.0% 引上げ、期末手当、勤勉手当をそれぞれ 0.05 月 / 年引上げるため条例の一部を改正するもの	全員一致で可決
議案第 84 号	令和 6 年度御前崎市一般会計予算の補正（第 6 号）について	特別職及び一般職の給料など総額 5,557 万 5 千円を増額する一方、負担率の変更に伴う退職手当組合負担金 8,957 万 6 千円を減額することで、差し引き 3,400 万 1 千円を減額し、総額 176 億 2,876 万円とするもの	全員一致で可決
議案第 85 号	令和 6 年度御前崎市介護保険特別会計予算の補正（第 2 号）について	人件費の増額に伴い、歳入歳出それぞれ 220 万円を追加し、総額 30 億 6,588 万 3 千円とするもの	全員一致で可決

議案番号	件名	概要	審議結果
-	議案の訂正について	議案第68号御前崎市ふるさと交流拠点施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について、地方自治法に抵触するおそれがある条文を削除するもの	全員一致で承認
発議第11号	御前崎市議会議員の政治倫理に関する決議について	御前崎市議会議員の政治倫理に関する基本的な事項を定めることにより、議員の政治倫理のより一層の向上を図り、もって市民に信頼される議会づくりを進め、市政の健全な発展に寄与することを目的として決議するもの	全員一致で可決

※なお、本定例会において、賛否が分かれた議案はありませんでした。

発議第11号 御前崎市議会議員の政治倫理に関する決議



御前崎市議会議員の政治倫理に関する決議

御前崎市議会は、議会基本条例（平成28年3月施行）を定め、議員一人ひとりが応分の責任と倫理、品位と見識をもって活動することを旨としている。

我々議員は、市民の厳粛な信託により、市民の代表として市政に携わる権能と責務を有することを深く認識し、公正、誠実、清廉を基本とし、厳しい倫理意識に徹して、その使命の達成に努めなければならない。

よって、御前崎市議会は、ここに「御前崎市議会議員政治倫理規程」を定め、次に掲げる政治倫理基準を遵守することを決意する。

- 一、市民全体の代表者として、その品位を損なうような一切の行動を慎み、その職務に関し不正の疑惑を持たれる恐れのある行為をしないこと。
- 一、政治活動に関して、政治的、又は道義的な批判を受ける恐れのある寄附をしない、かつ受け取らないこと。
- 一、市が行う許可その他の処分、行政指導、請負その他の契約又は補助金等の交付決定に関し、特定の個人、企業、団体等のために有利又は不利な取り扱いをするよう働きかけをしないこと。
- 一、市職員の採用、昇格及び異動等に不当な関与をしないこと。
- 一、市職員の公正な職務の遂行を妨げ、又は当該職員の権限若しくは地位による影響力を不正に行使するよう働きかけをしないこと。
- 一、議員の発言又は情報発信は、確たる事実に基づいて行うこととし、虚偽又は誹謗中傷に類する発言又は情報発信により他人の名誉を毀損しないこと。
- 一、ハラスメントが個人の尊厳を傷つける人権侵害であることを自覚し、いかなる場合であってもハラスメントをしないこと。

以上、決議する。

令和6年12月23日

御前崎市議会

# 本会議質疑



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

阿南澄男

【議案第62号について】 P.2参照

**問** 令和5年12月議会定例会に柳澤前市長から提出された「部設置条例の一部を改正する条例の制定」に関する議案は、採決の結果、13対1の反対多数で否決されました。既に退任を表明していた柳澤前市長が唐突に機構改革するものではないかと、議案が否決するのは当然のことでした。

柳澤前市長が議案の提出時期を誤った上に、議会への説明不足もあって機構改革は実現できず、結果として関係する部署は混乱し、職員に余分な負担がかかってしまいました。

下村市長は、令和5年度に提出された機構改革に係る条例の一部改正案の中身を確認していますか。確認しているとしたら、なぜ今回、機構改革の内容を令和5年度と大きく変えて再度提出に至ったのか伺います。

**答** 令和5年12月議会における「部設置条例の一部改正」

に関する議案につきましては、議会への説明不足、そして市民の理解を得るための配慮が不十分であったことは改めて重く受け止めております。

今回の機構改革案は、令和5年度の議論を十分に反映させて、管理職ポストの数を見直すとともに、職員の業務負担を軽減し、市民サービス向上のため、具体的かつ実現可能な形に直して再度提案する必要があると判断したことから、今回上程しました。

**問** 私は必要に応じた組織の統廃合自体に反対ではありません。しかし、今回の統廃合では、今後重要な局面を迎えるであろう火葬場とごみ処理場の整備や、再稼働に向けてプラント審査が始まることとしている浜岡原子力発電所が立地する当市の対応などを所管する部署の統廃合が含まれています。市の命運をかけた交渉事を担当する重要な部署であり、職員の中でも特に優秀な人材を集中的に配置すべきと考えます。市長はどのような視点で市民課及びエネルギー

政策課の管理職を配置する予定か伺います

市民課及びエネルギー政策課は、今後重要な局面を迎える業務を担う部署であり、業務の複雑さや重要性を私も十分理解しています。特に、火葬場やごみ処理場の整備、浜岡原子力発電所の再稼働に向けた対応など、社会的に影響のある業務を所管することとなります。市民課及びエネルギー政策課の管理職には、対象とする業務の専門知識や経験が豊富かつ、異なる法的枠組みの理解能力がある職員を配置していきたいと考えております。

**答** 市民課及びエネルギー政策課は、今後重要な局面を迎える業務を担う部署であり、業務の複雑さや重要性を私も十分理解しています。特に、火葬場やごみ処理場の整備、浜岡原子力発電所の再稼働に向けた対応など、社会的に影響のある業務を所管することとなります。市民課及びエネルギー政策課の管理職には、対象とする業務の専門知識や経験が豊富かつ、異なる法的枠組みの理解能力がある職員を配置していきたいと考えております。

### 改正のポイント！

- ① エネルギー政策課と環境課を統合し、総務部に配置する。ただし、生活衛生に係る業務は市民課に移管する。(室の設置を検討)
- ② 税務課を総務部から生活市民部に配置変更する。
- ③ 児童福祉法の改正に伴う子育て施策について、迅速かつ的確に対応するため、健康福祉部こども未来課内に「こども家庭センター」を設置する。
- ④ 建設課、都市政策課、管理課を維持管理部門と建設整備部門に再編成する。

# 委員質疑



総務経済委員会



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

令和6年12月12日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

なお、議案第68号は議案の修正がありましたので12月12日には審査せず、議案の訂正が承認された12月23日に審査しました。

【議案第61号について】 P.2参照

**問** 副市長の専決規程について、変更は考えているか

**答** 今後進めていきます。

**問** 財政状況が厳しい中で、副市長を2人にする理由は

**答** それぞれの副市長が持つ役割によって、財源の獲得や歳出の削減効果が期待できます。

**問** 外部から招へいする副市長の成果指標は

**答** 財政状況や組織全体への波及効果で評価します。

【議案第62号について】P.2参照

**問** 政策監の位置づけは条例のどこにうたわれているか

**答** 政策監は、部へ属さず全庁的な業務を担い、職員職名規則に職名が規定されています。

**問** 企業港湾室が所管する企業誘致については、どこにうたわれているのか

**答** 商業、工業及び観光に関する事項に含まれ、細かい事務分掌は規則で定めています。

【議案第63号について】P.2参照

**問** 体育館のエアコン使用料を徴収するのであれば、地区センター会議室のエアコン使用料も徴収すべきではないか

**答** 地区センター以外の施設にも関係することであるため、市全体として検討させていただきます。

**問** 令和8年度から中学校の部活動が地域移行されるが、部活動で使用する際の使用料も検討すべきではないか

**答** 今後、検討します。

【議案第75号について】P.3参照

**問** 工事を行う農業用ため池の下流には、何世帯の家屋があるか

**答** 平均して3〜4世帯の家屋があります。

**問** 牧之原畑地農業用水は、稲作に転用できないか

**答** 転用の可能性を否定するものではありませんが、受益地の変更や施設の改良が必要となります。

なお、議案第61号においては、総務課に対し、「各副市長の役割を明確にし、より効果が発揮できる体制の構築を求め」と、議案63号においては、企画政策課に対し、「公共施設の利用料金の積算根拠を明確にし、受益者負担の公平性を確保を求め」と意見を付しました。



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

令和6年12月12日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第69号について】P.2参照

**問** 条例の新旧対照表を見ると、現行の口腔外科が改正案で削除されているが、今後、口腔外科を置かないという認識でよろしいか

**答** 口腔外科を今後も置く予定はありません。

【議案第72号・73号について】P.2・P.3参照

**問** 医療現場における日々のリスク管理はどのようなになっているのか

**答** 病院には、ヒヤリ・ハット、インシデント、アクシデントの報告システムがあり、事実があった場合には即座に入力が行われ報告されています。レポートは、医療安全管理者が毎日チェックし、必要に応じて聞き取り調査や分析を行い、組織に報告しています。

なお、執行部に対し、意見書を提出しました。

**問** 事故直後から今日まで、議会に一切報告がなかったのはなぜか

**答** 和解が成立する見込みとなつた段階まで、議会への報告を行わなかったことにつきまして、誠に申し訳ありませんでした。今後は、医療過誤が発生した場合や訴訟等となつた場合には、患者様方との関係に配慮しながら、速やかに報告いたします。

なお、執行部に対し、意見書を提出しました。

意見書

令和6年12月23日

御前崎市長 下村 勝様

御前崎市文教厚生委員会  
委員長 阿形 昭

文教厚生委員会における意見について  
記

報告事項 市立御前崎総合病院の現状について（病院事務部）

1. 当市の厳しい財政状況に鑑み、病院会計における多額の内部留保資金を有効に活用し、令和7年度予算から一般会計繰入金を大幅に減額するよう強く求める。
2. 病院事務部長は、病院経営に関し、情報の分析、戦略の策定、施設管理、行政対応など、診療以外の業務全般を統括する責任者であり、その職にある者には、医療全般にわたる知識と豊富な経験に基づいた鋭い経営感覚と高度な判断力が求められている。  
病院の経営が危機的な状況にある現在、経営の再建に向けて財務や経理、労務管理や人材マネジメントに長けた専門職の事務部長を公募により採用することを提案する。



議会の様子は「YouTube」で  
配信されています。

## 一般質問

・御前崎港活性化について  
・ゼロカーボンシティ宣言への  
取組について



河原崎 恵士

**問** 観光資源としての御前崎港をどう考えるか

**答** クルーズ船の誘致を引き続き行い、市内周遊による外貨獲得可能なツアーを計画することで、市内観光の活性化を図っていきます。

**問** 御前崎港を拠点にした遊漁船への現地決済型ふるさと納税制度の導入の考えは

**答** この制度は納税する方が本市を訪れた際に、その場で寄附の申込みから支払いまでできる制度で、市内経済の活性化につながります。令和6年7月に説明会を開催し、2社が登録事業者になりました。今後も登録事業者の拡大に努めます。

**問** 取扱い貨物の増加策をどう

**答** 県西部を拠点とする企業にトップセールスを行い、取扱い貨物量の増加を目指します。防災拠点としての御前崎港の利用について伺う

**答** 港は災害時にも使える重要なインフラと考えています。

**問** 県の計画では支援物資の輸送等が計画されています。本市としては、災害時の状況を予測する中で、防災・減災の観点から、港の利用について丁寧な検討を進めます。

**問** 本市のゼロカーボンシティへの取組の現状は

**答** 産業部門では補助金制度を設けて省エネ機器導入を、業務部門では公共施設で太陽光発電設備の設置を、家庭部門ではクリーンエネルギー自動車購入に対する補助金制度等により省エネ・再エネ機器導入を促進しています。

**問** 海岸の藻場の再生を通してCO<sub>2</sub>を吸収させるブルーカーボン事業についての考えは

**答** 磯焼け対策は、南駿河湾漁業協会を中心に、漁業関係者や本市、牧之原市、吉田町による榛南地域磯焼け対策推進協議会を組織し、藻場の再生事業を推進しています。本市でも、学術研究を取り入れるなど積極的に藻場の再生に取り組めます。

## 一般質問

・市職員の採用人事について



阿南 澄男

**問** 令和5年12月開催の総務経済委員会へ提出された資料を見ると、今後数年で、部長、課長職を担う職員の数が極端に少なくなるのが分かります。解決策は、民間企業では当たり前となっている中途採用です。特に30歳代、40歳代の中堅職員の中途採用を、市役所も積極的に取り入れるべきと考えます。特定の分野において、深い知識や豊富な経験を持った有能な人材、例えば建設経済部なら土木施工管理技士や測量士、市民生活部なら水道技術管理者や公害防止管理者、健康福祉部なら保健師や精神保健福祉士などの資格免許を有した即戦力のスペシャリストを中途採用することです。市民サービスの向上はもとより、若手職員のレベルアップや負担軽減のためにも、市職員の中途採用を積極的に取り入れる必要があるのではないのでしょうか

**答** 年度途中における職員の退職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき事態であると認識しています。職員の中途採用は、豊富な経験と専門的知識を有する人材として、即戦力で組織に貢献できることが期待されます。

令和7年度の採用試験から、土木職及び建築職の募集年齢条件をこれまでの30歳から40歳まで、保健師などの専門職は35歳から40歳までとし、幅広い年齢層を募集要綱に定めることで、新卒者に限らず職歴のある方などの人材確保に努めます。

なお、年度途中における職員の採用は、適正な採用試験の実施、職務の継続性への調整や混乱のリスク、財政面などにおいても影響を及ぼすと思われるので、難しいと考えています。

市役所組織が正常な機能を継続していくためには、時代に沿った組織運営や業務の効率化を進めることも必要と考えますので、採用人事は継続的に研究していきます。

職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

年度途中における職員の退職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

職は、市役所の組織運営に影響を与えることから、憂慮すべき

一般質問

- ・外国人人材の確保について
- ・大規模自然災害発生時の市民の健康維持について
- ・地域医療の基本的な考え方について



小田芳久

問

国立社会保障・人口問題研究所によると、御前崎市の生産労働人口は2050年に半数になります。日本語のできる外国人の受入れに行政の積極的関与が必要です。友好都市締結から日本語学校の設立・人材確保につなげる事例があります。早急に調査研究に着手する考えはありますか

答

日本語のできる外国人労働者の受入れが、地域産業発展の助けになる可能性がります。市内企業とのつながりや歴史的な交流事例など、友好都市締結のきっかけを調査したいと思います。

問

大規模自然災害発生時、市立御前崎総合病院やしろわクリニックが救護所となり、医師、看護師は救護に当たります。そのような時、医薬品確保におけるネットワークの確立や、透析患者のための水の確保はされていますか

答

災害時の医薬品の供給ネットワークは、静岡県が静岡県医薬品卸業協会と、本市は小笠

一般質問

- ・期日前投票所の設置について
- ・市立御前崎総合病院について



阿形 昭

問

令和2年4月の選挙では、市内に13カ所の投票所がありました。令和6年4月の選挙では2つ減りました。減った1つは、朝比奈原公民館です。交通手段のない高齢者や統廃合の影響を受けた有権者のために、2日間限定の期日前投票所を朝比奈原公民館に設置できないか市長に伺う

答

期日前投票所は、市役所及び支所以外の場所におきましても、選挙管理委員会が指定することが出来ます。開閉時間の繰り上げまたは繰り下げも可能です。選挙執行に関する全般的な管理及び運営は選挙管理委員会が担っており、期日前投票所の設置は選挙管理委員会が判断することになります。本市の対応としましては、投票所までの交通手段のない高齢者などに対して、公共交通を含めた移動手段を検討してまいりたいと思えます。

問

本年4月、病院の管理課内の経営改善をする目的で、経理係と

答

経営戦略係を統合し、経営戦略室へと体制を変更しました。経営改善におけるこれまでの取組を伺う

答

収入増加に向けて、医師の積極的な経営参加が重要と考え、本年度から院内ベッドコントロール会議に医師も出席して、空き病床を無くすべく、ベッドコントロールを行ってあります。その結果、病床稼働率が少しずつ上昇してあります。他院などの連携におきましては、本年度から医師が訪問に同行し、内視鏡検査の増加につなげる取組を行い、他院からの問合せが徐々に増えてきました。

問

文教厚生委員会は、赤字経営から黒字経営に転換した神奈川県立三浦市立病院を視察しました。同病院の経営改善のノウハウを取得するために職員を派出させる考えを伺う

答

出向という形ではなく、電話やウェブなどにより詳細を確認し、情報交換を積極的に進めることで経営改善に生かしてまいりたいと考えております。

問

経営改善をする目的で、経理係と



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

一般質問

・財政健全化（歳出削減策）について



高田和幸

**問** 今年度当初予算のうち、4割以上を占める人件費及び物件費の削減策について伺う

**答** 人件費の抑制は重要な課題だと認識しています。引き続き適正な職員数を管理しながら、生産性を高めていきます。物件費の抑制は、施設の適切な維持管理を実施する一方で業務の見直しを行い、作業効率を高めていきます。

**問** 人件費のうち、時間外手当の抑制策は

**答** 時間外勤務の要因を見極め、柔軟な働き方を推進します。各課への適正な人事配置が行われなければ、業務分担や効率化が図れないのでは

**問** 各課において業務内容や責任範囲が異なりますが、引き続き適正な人事配置を行います。臨時的任用職員を減らすにはどうしたらよいか

**答** 業務の更なる効率化、正規職員の適切な配置、外部委託の活用、多能工に対応できる職

員の育成が必要です。

**問** 市民サービスに伴う業務委託について今後の見直しは

**答** オンラインサービスやキオスク端末機への利用促進を図っていきます。

**問** 財政状況が向上くまで市役所の業務を必要最低限に絞り、運営する考えはないか

**答** 市の業務は専門性の高い分野での対応が求められます。新たな行政課題に対応するため、効果的な行政運営に努めます。

**問** 多様化する住民ニーズに対応するためにはお金が必要ですか。どこまでやるのか、何が必要かを見極めることが大切です。

**答** 部や課を統合し、管理職を減らすことで人員を確保し、業務委託を職員で対応するなどの新しい組織や人事体制の刷新ができませんか

**問** 今、何が一番大切なのかを

**答** 考えています。専門性と広い知識を兼ね備えた職員が必要であり、若手の育成に力を入れていきます。

一般質問

・市内の小中学校の学校生活について  
・中学校の部活動の地域移行について  
・教職員の働き方改革の状況と課題について



川口知幸

**問** 市内小中学校の不登校の現状を教育長に伺います

**答** 令和元年度以降、増加傾向です。小中学校の割合は、中学校が高い傾向にあります。ほぼ全国と同様の傾向で、本市でも大きな課題の一つです。

**問** 不登校児童生徒や保護者及び家族が現状を打開できるように、教育委員会や各学校はどのような対応をしていますか

**答** 児童生徒や保護者と連携を図り、落ち着いた空間で学べる環境を校内に設けたり、「しおかぜ先生」や「サンルーム」で自立支援を促し、市単独のスクールソーシャルワーカーを配置して相談体制の充実を図っています。

**問** 個にきめ細やかに対応する教育体制の充実とは、どのような施策か伺います

**答** 相談体制の充実及び市費で軽度発達障害トータルコーディネーターを配置し、保護者や学校からの要望に対応して発達検査や知能検査を実施して、子ども

の正確なアセスメントに努めています。また、5歳児健診を市独自で実施し、園と小学校の接続にも力を入れています。

**問** 中学校の部活動指導員を確保する手段と、受益者負担の軽減について伺います

**答** 各団体の方に地域移行の説명을し、人材確保に努めています。指導者や希望者が不足している種目は広報紙等で周知し、引き続き人材確保に努めます。過度な受益者負担とならないよう研究をしていきます。

**問** 教職員の働き方改革の推進状況と課題について伺います

**答** 管内の小中学校では業務改善の結果、時間外勤務が減少傾向にあります。中学校では部活動終了時間を16時30分とし、時間外勤務の削減に取り組んでいます。しかし、突発的な生徒指導や面談など、課題は山積しています。過度な時間外勤務の解消のため、効果的な施策を検討していきます。

一般質問

・窓口業務の今後の方針について



石川貴広

**問** 市役所の窓口業務を外部の民間企業に委託するメリットを伺う

**答** 職員が内部業務に専念できるため業務効率が向上するとともに、窓口で専門知識を持つ人材の配置や、混雑具合による配置人数の調整を行うことが可能となり、市民サービスの向上につながっています。

**問** 今後の窓口業務の在り方について市長の考えを伺う

**答** 市民が市役所に来庁せずにできる手続きを増やすことで、市民の負担が軽減されるとともに、窓口の業務量も削減することが期待され、将来的に窓口業務などの委託コストの削減につながると考えます。引き続き窓口業務の在り方の検討を重ねて、さらなる市民サービスの向上に向けて改善を図ってまいります。

**問** 窓口業務に限らず、今後の業務の理想的な在り方を検討する中で、デジタル技術を活用して業務プロセスを根本から改革

する取組、いわゆるDXを積極的に推進する必要があると思うが、市長の考えを伺う

**答** DXを推進することは行政サービスの上昇に効果的であり、本市の持続的発展につながると認識しています。庁内で組織する窓口の在り方検討部会で継続して検討し、市民が使いやすい窓口の構築を目指すとともに、デジタルツールを活用して利便性の向上や職員の業務効率化に努めていきます。市として積極的にデジタル化を推進するとともに、デジタルの利用が苦手な方がデジタルツールを利用できるようにするための機会を提供してまいります。

**問** 今後の窓口業務の在り方について市長の考えを伺う

**答** 職員が内部業務に専念できるため業務効率が向上するとともに、窓口で専門知識を持つ人材の配置や、混雑具合による配置人数の調整を行うことが可能となり、市民サービスの向上につながっています。

**問** 今後の窓口業務の在り方について市長の考えを伺う

**答** 市民が市役所に来庁せずにできる手続きを増やすことで、市民の負担が軽減されるとともに、窓口の業務量も削減することが期待され、将来的に窓口業務などの委託コストの削減につながると考えます。引き続き窓口業務の在り方の検討を重ねて、さらなる市民サービスの向上に向けて改善を図ってまいります。



市役所1階のアパターによる総合案内

一般質問

・「だれでも食堂もぐもぐ」と「コミュニティキッチン」  
給食の地場産利用について



二俣秀明

**問** 本市では「だれでも食堂もぐもぐ」を実施し、令和5年度には4カ所の飲食店などで513食が提供されました。子ども食堂はセーフティネットを兼ねたコミュニケーションの場となっているが、市として、今後どのようなコミュニティの場にしていくか伺う

**答** 仕事などで家庭教育に関わる時間的余裕がない世帯など市内の親子を対象とし、食事を提供しながら、親子や保護者間の交流の場、地域とのふれあいの場づくりとして取り組んでいます。事業費補助金が1年度につき1万5000円以内で補助されます。令和5年に364食提供された店舗もあります。営利目的ではありませんが、「だれでも食堂もぐもぐ」を実施しやすい環境をどのように整えるか伺う

**答** 現在、「だれでも食堂もぐもぐ」は、市内4カ所（飲食店、教育機関や寺院）で実施しています。市では市内8地区に各1カ所ずつ実施することを目標としています。

**問** 給食の食材高騰の現状と地場産の使用について伺う

**答** 現在、物価高騰や天候不良により、1食単価内で給食を提供することに苦慮しています。地産地消は、必要量の確保が難しい状況もありますが、小売店などに地場産品の納品をお願いしています。現在、ミニトマトは農業者から直接購入しており、サツマイモや大根についても交渉を行っています。農業者との連携システムの構築を図り、地産地消を推奨したいと考えています。

**問** 農家と団体が直接やり取りを行い、農作物の提供がされていますが、実施団体の負担軽減のため、提供作物を集約し、情報提供できるシステムの構築を目指しています。

**問** 実施団体に食材以外の協力はありますか

**答** 市内企業から食器や調味料などを提供いただき、当日食堂内で配膳や片付けなどのボランティアをしていただいています。

**問** 給食の食材高騰の現状と地場産の使用について伺う

**答** 現在、物価高騰や天候不良により、1食単価内で給食を提供することに苦慮しています。地産地消は、必要量の確保が難しい状況もありますが、小売店などに地場産品の納品をお願いしています。現在、ミニトマトは農業者から直接購入しており、サツマイモや大根についても交渉を行っています。農業者との連携システムの構築を図り、地産地消を推奨したいと考えています。

**問** 給食の食材高騰の現状と地場産の使用について伺う

**答** 現在、物価高騰や天候不良により、1食単価内で給食を提供することに苦慮しています。地産地消は、必要量の確保が難しい状況もありますが、小売店などに地場産品の納品をお願いしています。現在、ミニトマトは農業者から直接購入しており、サツマイモや大根についても交渉を行っています。農業者との連携システムの構築を図り、地産地消を推奨したいと考えています。

**問** 給食の食材高騰の現状と地場産の使用について伺う

**答** 現在、物価高騰や天候不良により、1食単価内で給食を提供することに苦慮しています。地産地消は、必要量の確保が難しい状況もありますが、小売店などに地場産品の納品をお願いしています。現在、ミニトマトは農業者から直接購入しており、サツマイモや大根についても交渉を行っています。農業者との連携システムの構築を図り、地産地消を推奨したいと考えています。

一般質問

・障がいのあるお子さんとそのご家族への支援について  
・市内水産業者への支援策について



村田明彦

**問** 障がいのあるお子さんとそのご家族への支援について、現状の認識と今後の方向性を市長に伺う

**答** 幼少期の早い段階から成長に必要な訓練や日常的な介護サービスの利用につなげるなど、親子を支える体制を整備し、将来を見据えた支援を行っています。障がいのある方やそのご家族は、高齢になったときや親がいなくなったときなどの将来に、不安を強く持っていることが分かります。相談支援員の継続的な関わりの中で、将来への不安や悩みに対し、必要なサービスを紹介しています。

また、ご家族が高齢になり介護ができなくなった場合や、ご本人が一人暮らしに不安を感じるようになった場合は、共同生活を行うグループホームを紹介するなど、将来にわたり安心して暮らせる支援を行っています。

障がいのある方を取り巻く問題は、複雑多様化しています。解決が困難な問題に対し、さらに包括

的な支援ができるよう、基幹相談センターを令和7年度に設置し、相談体制を強化していきます。

**問** 当市の基幹産業の一つである漁業についての現状認識と水産業者への今後の支援策について伺う

**答** 水産業は農業とともに、本市の基幹産業の一つであり、一次産業の側面としてだけでなく、三次産業とも結びつき、地域経済に重要な役割を果たしています。現状の課題は、主に施設の老朽化と後継者不足などによる漁業者の減少が挙げられます。今後の支援策として、老朽化施設の更新・整備は、財政的支援だけでなく関係機関との調整を図るなど総合的な支援を行っていきます。漁業者の減少は、漁協と協力し、若者が参入しやすい環境を検討していきます。また、御前崎ブランド事業やふるさと納税を活用して、海産物や加工品の消費拡大を推進し、今後も持続可能な水産業の振興に向け、支援を継続していきます。

また、御前崎ブランド事業やふるさと納税を活用して、海産物や加工品の消費拡大を推進し、今後も持続可能な水産業の振興に向け、支援を継続していきます。

一般質問

・景観計画に配慮した御前崎海岸周辺の整備について  
・新野川と箆川の津波対策について



福田伸次

**問** 景観に配慮した御前崎海岸周辺の環境整備について伺う

**答** 御前崎海岸周辺は、自然景観、起伏に富んだ地形の上にある御前崎灯台や、観光客が集まるマリナーパーク御前崎などの賑わいを有しており、市民にとってかけがえのない財産です。しかしながら、近年は台風や集中豪雨等により大量の流木やペットボトルなどの漂着物が海岸線に漂着する状況が度々発生しています。本市では国や県の補助事業を活用し、関係各課が漂着流木等の処理を行っています。

先日、浜岡東小学校の6年生の皆さんから、まちづくりに関する提案をいただきました。海岸美化活動と流木アートによる流木の活用について、市内の学校を中心に進めてほしいという提案は、多くの市民の方の環境美化に関する意識を高めることが期待される大変すばらしい試みだと思います。今後もオール御前崎で美しい海岸を

守っていきたいと考えています。新野川と箆川の津波対策について伺う

**問** 令和5年2月議会における鈴木克己前議員の一般質問

**答** 鈴木克己前議員の一般質問に柳澤前市長が答弁しましたが、2級河川の新野川と箆川は、県の管理河川です。津波の対策についても、第3次被害想定津波高による護岸堤防のかさ上げ整備は完了しています。また、両河川は護岸堤防のかさ上げ整備のほかに、水門設置という整備方法も候補にあつたようですが、第3次被害想定津波高での治水安全性、維持管理、経済性などを総合的に検討した結果、護岸堤防かさ上げ整備となったと聞いています。

本市としましては、当面の間、防災訓練などのソフト面に対応していく方針ですが、令和5年3月に静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023が策定されましたので、新たな想定のもと、県と協力して市内の防災・減災に努めていきます。

また、御前崎ブランド事業やふるさと納税を活用して、海産物や加工品の消費拡大を推進し、今後も持続可能な水産業の振興に向け、支援を継続していきます。

# 委 員 会 報 告

## 予算決算審査

特別委員会

令和6年12月13日に委員会を開催し、付託された一般会計及び国民健康保険特別会計の補正予算2議案について、関係部課長から細部にわたり内容の説明を求め、慎重に審査した結果、本委員会としては、全議案を原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、議案第78号の「令和6年度御前崎市一般会計予算の補正(第5号)」において、こども未来課に対し、「放課後児童クラブの活動教室の環境改善を強く求める」、商工観光課企業港湾室に対し、「マリノパークキャンプ場の営業活動に支障がないよう市として取り組むよう求める」と意見を付しました。

また、報告事項として、開館25年を迎えた市民プールは、建物や設備の老朽化が進み、今後は計画的な修繕や更新工事が必要であることや受益者負担の公平性を保つため、市民プールの料金改定を予

定しているとの報告を受けました。

## 原子力対策

特別委員会

令和6年12月17日に委員会を開催し、静岡県原子力防災センターを視察した後、中部電力(株)から原子力規制委員会が行った現地調査について、説明を受けました。

### 1 原子力防災センター(牧之原市)

○環境放射線監視センター  
浜岡原子力発電所周辺の空間放射線量を常時監視するため放射線監視室や、環境中の放射性物質を測定する放射能測定室を備えており、原子力発電所で事故が起きたときに緊急時モニタリングを行う施設です。

#### ○オフサイトセンター

原子力災害が発生したときには、原子力事業者による応急対策、事故の状況把握と進展予測、住民の安全確保、住民等への医療措置、避難住民等への支援を行う施設です。

### 2 中部電力(株)からの説明

○敷地内の断層(H断層系)の

審査の状況

- ・ H断層系の代表性  
令和6年7月概ね了承された
- ・ H断層系の同一性  
令和4年3月考え方について概ね理解された

H-9断層より北側の断層が同一であることを説明する予定

#### ・ H断層系の活動性

上層地層が12〜13万年前の地層であることを説明する予定

これらを踏まえ、12月16日及び17日に原子力規制委員会による現地調査が行われ、露頭<sup>\*1</sup>、ボーリングコア<sup>\*2</sup>等が確認された。

※1 露頭(ろうとう)とは、岩や鉱脈の一部が地表に露出している所

※2 ボーリングコアとは、地層を掘って採取した岩石



オフサイトセンターを見学する議員

## 中長期計画共創

特別委員会

令和6年12月17日に委員会を開催し、総務部企画政策課から第3次総合計画における基本構想についての説明を受け、将来都市像は「安心と希望を未来へつなぐ人が自然と共生するまち 御前崎」に決定したと報告がありました。

### ○第1編 序論

計画策定に当たって、本市が配慮すべき視点を「御前崎市を取り巻く社会情勢と課題」として記載

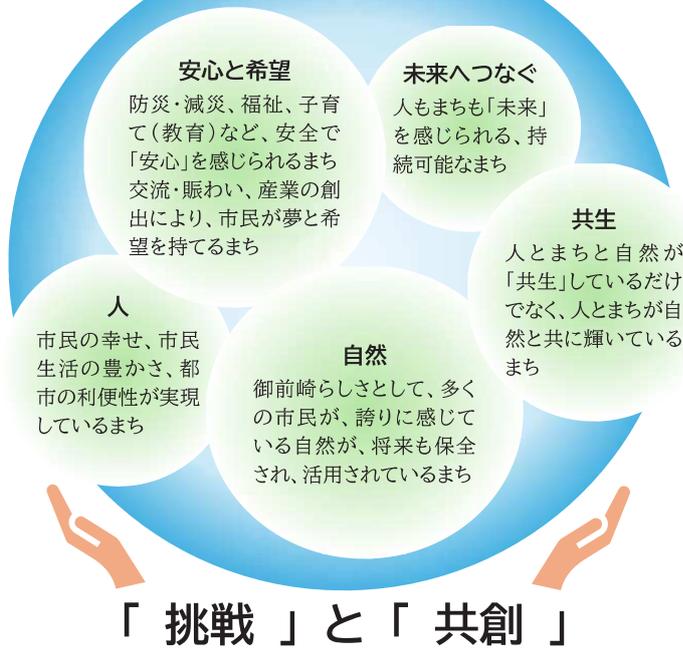
- 1 人口減少を克服し活気あふれる社会へ
- 2 防災・減災、国土強靱化で災害に強い社会へ
- 3 自治体DXを推進し誰もが暮らしやすい社会へ
- 4 GXで環境にやさしい社会へ
- 5 持続可能な自治体経営へ

### ○第2編 基本構想

- 第1章 将来人口
  - 第2章 将来都市像
  - 第3章 将来都市像を実現するための7項目の基本目標
- (1)安心して安全に暮らせる強靱なまち(防災・危機管理分野)

御前崎市の将来都市像(仮)

安心と希望を未来へつなぐ  
人が自然と共生するまち 御前崎



- (2) 人と自然を思いやるまち(環境・市民生活分野)
- (3) 地域特性を活かし心豊かに暮らせる持続可能なまち(都市基盤分野)
- (4) 共に支え合う健康と福祉のまち(健康福祉分野)
- (5) 地域資源を生かした活力ある産業と交流で賑わうまち(経済産業分野)
- (6) 郷土を愛し世界に通じる人を

なお、委員から「あるべき姿と現状の差が課題である。現状と課題に対応させ、それを克服するための具体策を記載するように整理すべき」との意見がありました。

- (7) 育むまち(教育分野)
- 多様化する社会に対応できる持続可能なまち(経営管理分野)

第3次御前崎市総合計画は策定段階にあるため、こちらのイメージ図は今後変更する可能性があります。

議員活動報告

地域防災訓練  
(議員登庁訓練)

活動日 令和6年12月1日(日)  
 参集場所 市役所 全員協議会室

災害発生時、議員は各地区の方面隊や地区防災連携会の顧問の役割を担っています。これまで安否確認メールによる議員の安全確認を行ってききましたが、今回初めて議員登庁訓練を実施しました。

市役所登庁後は、事務局職員から市議会業務継続計画(案)(以下、「議会BCP」)の説明を受け、本会議や委員会開催中に災害が発生した場合に備え、避難経路や消火栓、消火器の設置箇所の確認をしました。

その後、市役所西館の災害対策本部の見学を行い、危機管理課長から災害対策本部設置後の流れについて説明を受けました。

※ 議会BCPとは…大規模災害が発生した際においても、議会が平時と同じように議事機関としての役割を果たし、その責務を果たすことができるよう定めた計画のことです。



災害対策本部見学



議会BCP(案)の説明を受ける議員

# 議員研修

## 志太榛原五市二町議会議長

### 連絡協議会議員研修会

研修日 令和6年10月23日(水)  
会場 ホテルオーレ藤枝  
(藤枝市)

講師 ソフトバンク株式会社  
戦略顧問(前金沢市長)

講師 山野之義氏

演題 能登半島対応及び金沢市における自治体DXの取組

五市二町(焼津市・藤枝市・島田市・牧之原市・御前崎市・吉田町・川根本町)の議員が一堂に会し、研修会を行いました。

講師の山野氏は金沢市長在任中、会議は原則ペーパーレス、本庁執務室はフリーアドレスを導入するなど行政DXを強力に推進し、業務効率の改善や職員のDX意識の向上を図ったという取組の紹介があり、DX推進には「トップの本気度と見せ方」、「トップと職員の信頼関係構築」が必要であるということでした。

また、能登半島の対応としては、ソフトバンク社の衛星インターネットサービス「スターリンク」

やAIで水質を管理する水循環システムを被災地にいち早く設置するなど、最新テクノロジーを活用した好事例は、今後の災害対応に大いに参考になる講演でした。

## 第14回全国原子力発電所立地議会サミット

研修日 令和6年10月31日(木)  
11月1日(金)

会場 品川プリンスホテル  
(東京都港区)

### メインテーマ

「GX実現に向けたエネルギー政策」  
政策、原子力発電と立地自治体の在り方を考える」

### 分科会

- ・第1分科会「原子力政策と地域振興」
- ・第2分科会「脱炭素社会における原子力発電」
- ・第3分科会「原子力防災体制と避難計画」
- ・第4分科会「核燃料サイクルと使用済核燃料の中間貯蔵・最終処分」
- ・第5分科会「廃炉計画と次世代革新炉の研究開発」

全国の原子力発電所立地自治体の議員など約300名が参加しま

した。サミットでは、経済産業省大臣官房エネルギー・地域政策統括調整官の佐々木雅人氏から「エネルギー・原子力政策について」の基調講演がありました。その後、議員は5つの分科会に分かれて議論し、翌日の全体会で各分科会から報告がありました。その後、国からコメントが披露され、閉会式ではサミット宣言が採択されました。



基調講演を聴講する議員



分科会で意見交換をする議員

# 視察研修

## 文教厚生委員会視察研修

視察日 令和6年10月15日(火)  
10月16日(水)

### 視察先及び内容

○重層的支援体制整備事業について(神奈川県藤沢市)

藤沢市では少子高齢化の進展に伴う社会経済状況の変化や、地域生活課題の複合化・複雑化などに対応するために、高齢者を対象とする地域包括ケアシステムの考え方をすべての市民を対象に広げ、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちを目指す「藤沢型地域包括ケアシステム」を推進してきました。令和3年度に重層的支援体制整備事業が創設されたことを受け、藤沢型地域包括ケアシステムに基づく施策や事業の整合化を図り、令和5年度に重層的支援体制整備事業を本格実施しています。相談者にとっては、どこに相談しても話を聞いてもらえ、必要な支援に早期につながるというメリットがあります。

○病院の経営改善について  
(神奈川県三浦市立病院)

三浦市立病院は、平成19年度以前は10年近く基準外繰入金がないと赤字が出せない状況が続き、当時の市長が、病院経営を病院長と民間公募で採用した新事務長に任せ、自らは管理者に徹する英断をしたことにより、平成20年度から経営改革が始まりました。地方公営企業法の全部適用を選択し、改善提案70項目を掲げて病院の経営改革に取り組み、平成24年度には赤字から黒字に転換しました。  
収入確保策として、病床の積極的改変や専門外来の開設、人間ドックメニューの充実、開業医と



三浦市立病院で職員から説明を受ける議員

の連携による検体検査受託、来院者駐車場の有料化などの取組を、費用削減策として、医療職給与の適正化、SPDシステムやVPP(症例単価)契約の導入などの取組を行いました。

現在、改善提案は107項目に増え、全職員が経営意識をもって病院経営に取り組んでいます。

※1 SPDシステムとは：病院内における物品の購入から保管、使用までの一連の情報を一元管理するシステム  
※2 VPP(症例単価)契約とは：医療機器などの使用料を、実施した症例数に応じて支払う料金の支払い方式

## 友好都市交流事業

### 高森町訪問(長野県下伊那郡高森町)

訪問日 令和6年10月25日(金)  
26日(土)

#### 視察先及び内容

○山吹ほたるパーク

(長野県フットボールセンター)

○第42回高森ふるさと祭り

平成19年9月に友好都市提携を締結している長野県高森町を訪問しました。

10月1日にオープンしたばかりの山吹ほたるパークは、長野県サッカー協会から「南信地域のサッカー拠点」となるサッカー場等のスポーツ施設を造りたいという要望を受けて、高森町山吹ほたるパーク周辺の開発が進められて完成した施設です。日本サッカー協会公認規格の人工芝グラウンド一般用1面(少年用2面)、約440名収容可能な観覧席、施設西側に生息しているゲンジボタルの環境を害さないように配慮された照明器具、防球ネットなどが完備されていました。

第42回高森ふるさと祭りでは、会場内にハロウィンの装飾がされ、仮装で来場した町民も多く、

イベントを盛り上げていました。また、友好都市PRでは、御前崎市観光協会や茶業振興協議会が出席し、多くの来場客が「ゆひかり」や「イセエビ汁」を求めてブースを訪れていました。



山吹ほたるパーク見学



高森ふるさと祭り開会式 議長登壇

# 2月議会定例会の予定

2月議会定例会は、2月21日(金) から3月24日(月)までの32日間の会期で開催される予定です。日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(電話85-1115)までお問い合わせください。

- 2月 14日(金) 議会運営委員会
- 21日(金) 本会議(議案説明)
- 3月 6日(木) 本会議(質疑・一般質問)
- 7日(金) 本会議(一般質問)
- 10日(月) 総務経済委員会  
文教厚生委員会
- 12日(水) 予算決算審査特別委員会
- 13日(木) 予算決算審査特別委員会
- 14日(金) 予算決算審査特別委員会
- 17日(月) 特別委員会
- 19日(水) 議会運営委員会
- 24日(月) 本会議(質疑・討論・採決)



御前崎市マスコットキャラクター  
ふうちゃん

問い合わせ先

## 御前崎市議会 議会広報特別委員会(議会事務局)

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田5585

TEL(NTT・CATV): 0537-85-1115 / FAX: 0537-85-1139

E-mail: gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp



御前崎市マスコットキャラクター  
なみまる

## 議会を傍聴しませんか?

- 市議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴席には限りがありますので、超過した場合は別室でのテレビ傍聴となります。
- 耳の間こえにくい方のためにイヤホン型の補聴支援用機器があります。(3名分)
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。
- 御前崎市議会傍聴規則をお守りください。

### ◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧ください!!

本会議・常任委員会・予算決算審査特別委員会等の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル122チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

また、本会議・常任委員会の内容は、インターネット動画共有サイト「YouTube」でライブ・アーカイブ配信されます。



## 市民の皆様の声をお寄せください

議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。電話・FAX・郵送・Eメールで受付します。

◇住所・氏名・電話番号を明記してください。

◇お便りの返却はいたしません。

### 議会のひかり

#### 12月

- 2725 2319 1713 1211 10
- 日日 日日 日日 日日 日日
- 御前崎市牧之原市学校組合議会定例会  
議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 総務経済委員会
- 12月議会定例会本会議(最終日)
- 議会運営委員会
- 原原子力対策特別委員会
- 中長期計画共創特別委員会
- 予算決算審査特別委員会
- 文教厚生委員会
- 総務経済委員会
- 12月議会定例会本会議(一般質問)
- 12月議会定例会本会議(質疑・一般質問)

#### 11月

- 28 21 20 1514 7
- 日 日 日 日日 日
- 12月議会定例会本会議(初日)
- 全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議との意見交換会
- 議会運営委員会
- 予算決算審査特別委員会
- 議会全員協議会
- 大井川広域水道企業団運営協議会
- 文教厚生委員会
- 原原子力対策特別委員会
- 議会運営委員会
- 中長期計画共創特別委員会

#### 10月

- 3128 25 2322 21 181511 9 8 1
- 日日 日 日日 日 日日 日 日 日
- 第14回全国原子力発電所立地議会サミット(11月1日)
- 中東遠看護専門学校組合議会定例会
- 友好都市交流事業「長野県高森町訪問」(26日)
- 全国市議会議長会基地協議会東海部会定期総会
- 志太榛原五市二町協議会議長連絡協議会議員研修
- 防衛費全国情報施設振興議員連盟との意見交換会・要望活動
- 議会広報特別委員会
- 議会全員協議会
- 21日
- 18日
- 15日
- 11日
- 9日
- 8日
- 1日
- 御前崎市牧之原市学校組合議会定例会
- 牧之原市御前崎市広域施設組合議会定例会
- 第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡(10日)
- 議会広報特別委員会
- 文教厚生委員会視察研修(16日)
- 中長期計画共創特別委員会
- 議会運営委員会

編集 議会広報特別委員会

委員長 植田浩之  
副委員長 村田明彦

委員 小田芳久 石川貴広  
福田伸次 高田和幸

川口知幸